

平成19年度 奈良県環境県民フォーラム事業実績

1. フォーラムの運営

総会の開催（日程：平成19年4月24日、場所：奈良県婦人会館）
記念講演：「食という字は人を良くすると書きます～スローフードと地産地消～」
講師：尾川欣司氏（ル・ベンケイオーナーシェフ）
10人委員会の開催（5回開催）
各分科会の開催
大気（8回開催）、水（4回開催）、ごみ減量・リサイクル（7回開催）、
自然環境（8回開催）
菜の花プロジェクト実行委員会（3回開催）

2. 主要事業

全体

環境フェアの開催（県、環境県民フォーラム、地球温暖化防止活動推進センター共催）
日常生活における地球温暖化防止の取組を促進するため、環境保全活動の事例紹介や
パネル展示、体験コーナー、環境商品の展示等を通して小中学生を含めた県民に広く
啓発するために開催した。
時期：平成19年10月27日
場所：橿原市 橿原公苑第1体育館 来場者数：3500人
機関紙「環境県民フォーラムだよ！り」の発行（年2回）
目的：フォーラムの存在の外部へのアピール。フォーラム会員内の情報共有。
ページ数等：見開き4ページ、A4版
発行部数：4,000部（20号）、3,000部（21号）
配布先：各会員、企業、関係団体、公共機関等
奈良県環境県民フォーラムニュース（毎月）
目的：フォーラム会員の交流の活性化、環境関連情報の共有。
内容：フォーラム会員主催の催し、近畿地方の環境関連のイベント・講演会、環
境に関する新情報の提供。
菜の花プロジェクトの取り組み
菜の花プロジェクト実行委員会を設け、会員の参加を求めながら、奈良市北永井町の
休耕田において菜種栽培を実践した。
平成19年 4月14日 菜の花まつり
平成19年 9月10日 天ぷらパーティー
平成19年 9月22日 堆肥散布、育苗セット配布
平成19年10月20日 苗移植
こどもエコクラブ交流会の開催
環境教育・環境学習の推進及びこどもエコクラブの交流・活性化を目的とし、水質調
査やネイチャーゲーム等、自然とふれあう体験的学習を通じて、水質保全及び自然環
境保護など様々な環境問題について県民の理解を深め、環境保全意識の高揚を図った。
日程：平成19年8月18日
場所：ひーとびーとの森（宇陀市榛原区八滝）
暮らしと環境フェスティバルへの参画
暮らしと環境フェスティバル実行委員会に参画するとともに、各分科会がブース出展
を行った。
時期：平成20年3月29日、3月30日
場所：奈良県文化会館 来場者数：8500人

大気分科会

エコバスツアー
一般の県民を対象に、環境保全意識の高揚を図るため、環境関連施設のバス見学会を
実施した。

日程：平成19年10月27日
場所：セキスイハイム近畿（奈良市西九条町）、環境フェア（橿原公苑第1体育館）
参加者数：約180名
環境講演会の開催
環境県民フォーラムの活動紹介や、環境にやさしいエコライフの提案及び推進を目的とし、一般の県民を対象に開催した。
日程：平成20年1月31日
内容：鍋帽子でエコクッキング
場所：奈良友の家 参加者数：23名
助成金を活用した新規事業の検討
エコライフファミリーに代わる新規事業を実施すべく、事業内容の検討を行い、20年度実施に向けて、助成金の申請を行った。

水分科会

エコ見学会（ごみ減量・リサイクル分科会と共同実施）
フォーラム会員の環境保全意識の高揚、情報共有を図るため、先進的な環境配慮型施設を見学した。
日程：平成19年11月20日
場所：大阪市水道局柴島浄水場、野村興産(株)関西工場 参加者数：18名
河川浄化への啓発
生活排水の汚染負荷減少に向けた啓発及びフォーラムの存在の外部へのアピールをするため「アース・デー2007 inなら大和川クリーン作戦」に協力し、また機会を捉えてアクリルタワシ活用の啓発活動を展開した。
大和川の水質調査
大和川の水質を県民に知ってもらうために、生活排水が多く流入する大和川水系竜田川の24時間定点観測を実施。調査結果をもとに啓発資料を作成し、アクリルタワシ作成講座などで活用した。
日程：平成19年7月27日
場所：竜田川3地点（定点観測は1地点）

ごみ減量・リサイクル分科会

環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
ごみの減量・資源の節約のために、誰にでもすぐに実行できる買い物袋持参やグリーン購入等呼びかけた。
10月 県と共催で県下30事業所744店舗のスーパー、商店街等で実施。
また、マイバッグの持参を呼びかけるマイバッグキャンペーンを実施した。
時期：平成19年10月4日 場所：ライフ御所店
県内市町村の指定有料ごみ袋の現状調査
各市町村に対して、指定有料ごみ袋の現状についてアンケート調査を実施。調査結果を取りまとめた一覧を、啓発資料として環境イベント等で活用した。
レジ袋の使用状況調査
県内スーパー等で配布されるレジ袋の量について、一定期間、家庭単位で集計。レジ袋量を石油量に換算した啓発資料を作成し、環境イベントなどで活用した。

自然環境分科会

自然環境学習講座（奈良自然環境講座）
自然体験活動や自然環境教育に興味を持つ方々に参加してもらい、実践者の増大を図るための講座を実施した。
平成19年12月1日 高山サイエンスプラザ周辺の里山
自然体験講座
自然環境に興味を持つ県民に広く参加してもらうことで、自然体験活動の普及を図るため、分科会会員が主催する自然体験行事を支援した。
1回目 平成19年7月28日 子どもと確かめる淀川源流域の環境
2回目 平成20年2月17日 早春の明日香路で自然観察
3回目 平成20年3月20日 あったか料理と自然体験